

# 平成 29 度 事業計画

## 警 岡山理科大学附属高等学校

教育の質的改善に取り組むことによって、地域社会から一層信頼される高等学校づくりを推進します。



急激に変化してきている現代において、グローバル化に対応することは、最重要課題であると考えます。学園

の建学の理念や校訓を遵守し確実な実行力により、学校改革に取り組みながら、以下の項目に重点を置き学校改革を進めます。

### ○人材育成と教育力の向上

グローバル社会に対応できる人材の育成のために、これまでの教育内容や教育手法に変化をもたせ、自ら考え自ら行動できる教育手法を取り入れながら、探究心が向上できる教育とします。また、これからの教員は教育力の資質が重要であるため、教師力の向上に継続的に取り組みます。

### ○国際協力と社会貢献

学園が協定を締結している交流協定校との交流を強化することで、英語教育を含めグローバル社会で「生き抜く強い力」を養わせ、また、学校としての使命でもある地域社会との協働において、地域の情報の拠点として、一体感がある地域社会の発展に寄与します。

### ○高大連携と社会連携の強化

岡山理科大学を始め関連大学並びに企業体、研究施設などと連携して、キャリア形成ができるようにします。また、専門的知識や専門的手法を身に付けさせ、グローバル的視野を併せ持つ人材の養成を行い、資質の向上を図ります。

### ○組織力の強化

教職員の意識改革を行い組織力の一層の強化に取り組みます。そのために、組織の見直しを行うとともに、情報の共有の強化や教科会議等を密に実施することで情報が活かされ、学校組織の向上にも繋がると考えます。今後、更に附属高校の全教職員の意思疎通に向けた組織作りを行います。

### ○経営基盤の安定

生徒の確保に向けて広報活動の強化に学校組織も共同して取り組む必要があります。社会的に説明責任がある高校として、生徒及び保護者が満足できる学校、地域から認められる学校として発展するように、教職員が一丸となって安定した経営基盤の構築に努めます。

岡山理科大学附属高等学校  
校長 洲脇 史朗

## 教育の充実

### ■サイエンスおよびグローバル教育の推進

これまで実施しているSSH事業の経験を生かしながらサイエンス教育を推進するとともに、これからの人材育成を目指し、グローバル教育を推進します。【1-1】

### ■アクティブ・ラーニングの取り組み

生徒が主体的・協働的に授業に取り組み、深い理解や、問題発見・解決の能力を身に付けることができるよう、これまでの授業形態に変化を持たせ、アクティブ・ラーニングを用いた授業展開を研究し、導入します。【1-2】

### ■ICT活用教育の推進

情報活用能力の育成のため、ICTを活用した新たな学びを実現するための教育方法を検討し、推進します。また、年次進行により、情報機器の増強およびネットワーク環境の拡充を行います。【1-3】

### ■国際バカロレア（IB）教育プログラムの導入

学校教育法第一条校で岡山県初の国際バカロレア認定校を目指します。認定要件を満たすために下記の項目に留意しながら、必要な準備を進めていきます。

- ・学習指導要領とIBの対応を整理し、適切な運用・評価などを考慮したカリキュラムの作成。
- ・教員の養成・確保。（IBスタッフ全員のワークショップ受講の早期実施）
- ・IBに関する広報・理解の増進。

認定に向けた準備が整った段階で、Application for authorizationを国際バカロレア機構に提出し、早急な認定を目指します。【1-4】

### ■関連校との高大連携による質の高い教育の提供

岡山理科大学をはじめとした、関連大学との高大連携教育に継続して取り組みます。また、連携

先での聴講、実習を体験することで、多面的でより高度な理解を深めます。【2-1】

### ■提携企業等と連携した教育の提供

体験的な教育として、学園の提携する施設等（池田動物園・山田養蜂場他）での実習により、興味・関心を深めます。【2-2】

### ■基礎学力向上への取り組み

学校行事を精選し、より多くの授業時間を確保します。また、補習や諸検定試験、模試を有効に活用し基礎学力の向上に取り組みます。【3-1】

### ■シラバスの作成

生徒や保護者に授業の進め方や目的また評価内容を明確にするためのシラバスを作成し、年間計画、ポイントを体系的に示し、生徒の学習計画や、学習意欲の向上に繋がります。【3-2】

### ■英語教育の強化

生徒のTOFLE、TOEICの受検に向け、取り組みを強化します。また、ケンブリッジ英検の受検に挑戦できるよう、準備・検討を進めます。英語学習の成果を客観的な指標で確認することで、生徒の英語学習へのモチベーション向上を図ります。【4-1】

### ■教育相談体制の充実

教育相談室に専門職員を配置し、保健室・担任・生徒指導部・管理職との連携を強化し、生徒の学校生活を支援します。【5-1】

## 生徒指導

### ■あいさつ・マナー教育

あいさつ運動を実施し、あいさつ・マナーの向上を目指すとともに、生徒の服装、頭髪の乱れなどへの声かけ・指導を行います。また、PTAと協力して保導活動（街頭保導・列車保導）を実施

します。 【1-1】

#### ■情報モラル指導

ソーシャルメディアの正しい活用方法や、リスクについて指導を行います。外部の専門講師を招いての講義も取り入れます。 【1-2】

## 進学・就職指導

#### ■進学指導プログラムの充実

希望する大学への合格が叶うよう、学力向上を目指した各種のプログラムを計画・実施します。 【1-1】

#### ■関連校への進学支援

関連大学を紹介する機会を増やし、関連大学への進学意欲を更に向上させます。 【1-2】

#### ■進学先の開拓

大学訪問を行い、本校の教育内容を周知するとともに、指定校推薦卒の獲得を目指します。 【1-3】

#### ■就職試験対策の充実

生徒に合わせた就職指導を行い、就職筆記試験や面接等の対策指導を行います。 【2-1】

#### ■就職先の開拓

企業訪問を行い、これまでの求人企業からの求人獲得に加え、新たな企業への求人獲得に努めます。 【2-2】

#### ■資格取得のための支援充実

就職時に強みとなる資格取得に向けて、試験への対策補習等の支援の充実を図ります。 【2-3】

## 国際交流

#### ■交流協定校との交流

修学旅行等で海外の交流協定校への訪問や、本校への訪問受入れを行うことで、異なる国の人々

と交流する機会を積極的に設けます。 【1-1】

## 生徒募集

#### ■オープンスクール・入試セミナーの充実

オープンスクールでは、本校の概要・設備を中学生・保護者に知らせると共に、各科・コースの特色を紹介します。また、授業や実習および部活動等を体験することで本校への関心を高めます。入試セミナーでは、本校の入試制度や出題傾向を重点的に解説し、本校受験への意欲向上を目指します。 【1-1】

#### ■ホームページの積極活用

ホームページを積極的に活用し、学校の特色をアピールすると共に、タイムリーな情報更新で、学校の状況や教育活動や部活動の状況の情報発信を行います。 【1-2】

#### ■中学校訪問・中学校対象説明会

県内および近県の中学校の進路担当者に対し、本校の概要・入試制度を紹介し、生徒への周知を依頼します。また、中学校教員対象体験型研修会も実施します。 【1-3】

#### ■塾訪問・塾対象説明会

年間を通じ、塾を訪問し、情報交換を行います。本校の現状を報告し、本校への理解を深めてもらい、生徒への紹介を促します。 【1-4】

#### ■地区別入試説明会

生徒・保護者に対し、地区別に入試説明会を実施します。直接アピールし、より身近に本校を感じてもらい、理解・関心を深めます。 【1-5】

#### ■入試制度の検討と見直し

既存の入試制度の検討および見直しを行い、より魅力のある入試制度の策定に取り組みます。 【2-1】

## 内部質保証

### ■教職員の資質向上への取り組み

- ・教職者として、基本的なマナー、服装等を徹底し自覚を植え付けます。
- ・先進的な教育や取り組みをしている学校等を視察・体験し、本校への導入を検討することで、新たな教育の展開に努めます。
- ・外部講師を招き、資質向上のための講演会を実施します。
- ・年1回の授業評価目標・実務評価を取り入れ教育の質の向上を図ります。【1-1】

### ■公開授業の実施と検証

学内・学外の教職員および教育関係者等に授業を公開し、指導助言を受けながら、検証を進め授業内容の改善に取り組みます。【1-2】

### ■生徒等への授業アンケートの実施

生徒、保護者に授業アンケート等を実施します。結果を以後の学校運営や授業へ反映することでより良い教育の提供に努めます。【1-3】

## 組織力の強化

### ■学校運営会議の強化

校長、副校長、教頭、各部署の部長で構成する組織で、学校全体の運営方針並びに、学校が円滑にかつ革新的に運営できるよう、学校全体の業務の企画立案および連絡調整を一元化し、統一を図ります。【1-1】

### ■教科会議の強化・連携

各教科において、教科長を中心とした教科会議を開催し、授業改善等の取り組みを推進します。また、各科が集まり合同会議を実施し、横断的な情

報共有を行い、効率的な生徒の学力向上を図ります。【2-1】

### ■職員会議の強化

教職員が一致協力して教育活動を展開するため、校長の方針や教育課題への方策について、情報共有と意思疎通を強化します。【3-1】

## 通信制課程独自の取り組み

教育を受ける機会を最大限に配慮し、入学、転入学については、随時可能としています。また、入学した生徒に対し、学年齢の区分には縛られない、生徒の希望、資質、進路に適合したユニークなクラス編成を設定しており、生徒のニーズに合った指導を実施していきます。

### ■平日コースの充実

小学校、中学校就学時において、何らかの要因で十分な教育の機会と成果を得ることが出来ない生徒に対して、平日、週2日の通学を計り、H・R、所定の授業、学校行事、各種研修を計画的に実施することにより、自律・協調・継続という社会性と教養を高める指導の充実を単位制・学年制で推進します。【1-1】

### ■進路先の開拓と充実

通信制課程高等学校卒業後の進路確定率をさらに向上させるよう努めます。【1-2】

### ■生徒募集活動の強化

学校説明会を毎月実施します。また、ホームページの内容を充実させ、募集活動に繋がります。【1-3】

## 主な行事予定

4月 8日	始業式
4月 9日	入学式
4月16日	入学式（通信）
5月13日	P T A総会
6月14～ 15日	球技大会
7月16日	後援会総会（通信）
7月23日	卒業式（通信）
8月27日	入学式（通信）
9月21日	体育祭
9月29日	文化祭
9月30日	文化祭（通信）
12月3日	卒業式（通信）
12月17日	入学式（通信）
1月上旬	県外生入試
2月上旬	選抜1期入試
2月中旬	選抜2期入試
3月1日	卒業式
3月18日	卒業式（通信制課程）
3月20日	終業式

## 生徒・教職員数

### ■在籍生徒数

(平成29年5月1日現在)

課程・学科・コース名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数	
全 日 制 課 程	教育学科	40	6	120	22	
	普 通 科	特別進学コース	20	310	1,140	912
		進学理大コース	60			
		進学総合コース	60			
		生命動物コース	40			
		アニメ・デザインコース	60			
		健康・スポーツコース	60			
		中高一貫コース	80			
	普通科 計	380				
	機械科	80	45	240	159	
全日制課程 計	500	361	1,500	1,093		
通信制課程 (広域) 普通科			600	178		
総合計	500	361	2,100	1,271		

(単位：人)

### ■教職員数

(平成29年5月1日現在)

校長	副校長・教頭	教諭	教員 計
1	3	62	66

事務職員
14

(単位：人)

## 財務関係

### ■事業活動収支

(単位：千円)

科目		年度	
		29年度 予算額	前年度 決算額
教育活動 収入	学生生徒等納付金収入	636,730	634,356
	経常費等補助金	327,600	327,628
	その他収入	58,455	35,261
	計	1,022,785	997,244
	教育活動収支差額	△300,373	△320,797
教育活動 支出	人件費	929,277	952,760
	教育研究経費	262,254	259,157
	管理経費	131,627	106,115
	その他支出	0	9944
	計	1,323,158	1,318,042
教育活動外収入		21	2
教育活動外支出		11,335	15,550
教育活動外収支差額		△11,314	△15,549
経常収支差額		△311,687	△336,346
特別	収入	0	500
	支出	0	1,090
	特別収支差額	0	△590
基本金組入前収支差額		△311,687	△336,936
基本金組入額合計		△509,318	△96,320
当年度収支差額		△821,005	△433,257

### ■施設設備計画

(単位：千円)

事業名	金額
高校LAN整備	15,000

岡山理科大学附属高等学校  
中期計画の進捗状況一覧

教育の充実	H29	H30	H31	H32	H33	中期計画
1 - 1 サイエンスおよびグローバル教育の推進 - 2 アクティブ・ラーニングの推進 3 ICT活用教育の推進 4 国際バカロレア(IB)教育プログラムの導入	●	●	●	●	●	教育プログラムの充実
						導入準備・計画
2 - 1 関連校との高大連携による質の高い教育の提供 - 2 提携企業等と連携した教育の提供	●	●	●	●	●	高大連携および社会と連携した教育の推進
3 - 1 基礎学力向上への取組み 2 シラバスの作成	●	●	●	●	●	基礎学力向上への取組み
4 - 1 英語教育の強化	●	●	●	●	●	英語教育の強化
5 - 1 教育相談体制の充実	●	●	●	●	●	教育相談体制の充実
生徒指導	H29	H30	H31	H32	H33	中期計画
1 - 1 あいさつ・マナー教育 - 2 情報モラル指導	●	●	●	●	●	あいさつ・マナー向上
進学・就職指導	H29	H30	H31	H32	H33	中期計画
1 - 1 進学指導プログラムの充実 - 2 関連校への進学支援 - 3 進学先の開拓	●	●	●	●	●	進学実績の向上
2 - 1 就職試験対策の充実 2 就職先の開拓 3 資格取得のための支援充実	●	●	●	●	●	就職支援の強化
国際交流	H29	H30	H31	H32	H33	中期計画
1 - 1 交流協定校との交流	●	●	●	●	●	国際理解と貢献
生徒募集	H29	H30	H31	H32	H33	中期計画
1 - 1 オープンスクール・入試セミナーの充実 - 2 ホームページの積極活用 - 3 中学校訪問・中学校対象説明会 4 塾訪問・塾対象説明会 - 5 地区別入試説明会	●	●	●	●	●	広報活動の強化
2 - 1 入試制度の検討と見直し	●	●	●	●	●	入試制度の再検討
内部質保証	H29	H30	H31	H32	H33	中期計画
1 - 1 教職員の資質向上への取組み - 2 公開授業の実施と検証 - 3 生徒等への授業アンケートの実施	●	●	●	●	●	教育力・指導力の向上への取組み
組織力強化	H29	H30	H31	H32	H33	中期計画
1 1 学校運営会議の強化	●	●	●	●	●	学校全体の運営を図るために、決定権限の強化並びに
2 1 教科会議の強化・連携 2 各科の合同会議	●	●	●	●	●	教科会議並びに、各科合同会議実施と情報の共有化
3 1 職員会議の強化	●	●	●	●	●	職員会議での意思統一
通信制課程の取組み	H29	H30	H31	H32	H33	中期計画
1 - 1 平日コースの充実 - 2 進路先の開拓と充実 - 3 生徒募集活動の強化	●	●	●	●	●	生徒ひとりひとりの希望・資質に適合し、ニーズに合った指導の実施